

**小田急百貨店は新宿駅西口再開発工事に伴い
2022年9月末（予定）をもって新宿店本館での営業を終了します。
同年10月以降、新宿店は新宿西口ハルクを改装して営業を継続します。**

株式会社小田急百貨店（本社：東京都新宿区、社長：樋本達夫）は、小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区、社長：星野晃司）が東京地下鉄株式会社等と共同して推進する、国家戦略特別区域の都市再生プロジェクトである新宿駅西口地区開発計画の進捗に伴い、2022年9月末（予定）をもって、新宿店本館での営業を終了し、以降、新宿店は新宿西口ハルクにて営業を継続します。

1967年（昭和42年）に全面開業した新宿店本館は、小田急線と丸ノ内線の2棟の駅ビルの外観が同一のパネルにより統一された商業建造物であり、西口広場とも一体となったこのデザインはモダニズム建築家坂倉準三氏の手によるものでした。新宿駅西口の象徴的な建造物として、副都心開発を見守りながら50年以上に亘り皆様に親しまれてきましたが、今般、再開発に向けて解体に至ることとなりました。

これに伴い、新宿店は、2022年10月（予定）以降の工事期間中、新宿西口ハルクでの営業となり、それに向けた改装工事に同年春頃より着手します。改装後は、「食品」「化粧品」「インターナショナルブティック」中心の構成となる予定です。その他の売場を含めたフロア構成等の詳細は、決定後速やかにお知らせします。

なお、新宿店本館跡地には、新宿グランドターミナルの一体的な再編を象徴する大規模開発として、高層部にはハイグレードなオフィス機能、中低層部には新たな顧客体験を提供する商業機能を備える地上48階、高さ約260メートルの超高層ビルを計画しており、2022年10月（予定）以降に着工、2029年度の竣工を予定しています。

以上

■新宿店本館概要

所在地	東京都新宿区西新宿1丁目1番3号	
店長	林 幸一	
開業	1966年9月	新館として一部開店
	1967年11月	本館として全面開業
営業面積	約47,560㎡	
営業施設	地上14階 地下2階	

※小田急百貨店新宿店は1962年11月に現在の新宿西口ハルクにて開業しました。

現在、新宿西口ハルクでは食品、スポーツ用品等の売場を展開しています。

■新宿店本館外観（左は新宿西口ハルク）



■計画建物イメージパース（西側から計画建物を望む）



（2020年9月9日付の小田急電鉄株式会社および東京地下鉄株式会社によるニュースリリース「新宿駅西口地区開発計画について」）

<https://www.odakyu.jp/news/o5oaa1000001t94w-att/o5oaa1000001t953.pdf>